

鈴木 綱男 議員（一括質問一括答弁方式）
広域的組織的な支援で中小企業を守る

—情報収集に努め、実効性のある支援を実行—

問 自動車産業は現在大変厳しく、下請企業の経営は大変圧迫されているが、近年の倒産件数の推移はどのような状況か。
答 県内の負債額1、000万円以上の倒産件数は、20年度746件、21年度798件、22年度804件となっている。

問 本市ではどのような企業支援策を行ってきたか。
答 愛知県信用保証協会の保証により融資を受けた企業に対し、信用保証料の全額または一部を補助したほか、企業が失業予防で一時的に労働者を休業させた際の手当の補助や、資金繰りを支援する震災対策利子補給事業などを実施している。

問 公正取引委員会は親企業
黒川 智明 議員（二問一答方式）
市民の防災意識の向上は道半ばではないか
—自主防災組織と訓練を行うなど、意識の高揚に努めていく—

問 東日本大震災の経験を踏まえ、しっかりと備えをすることが大切である。災害時、避難所では合計で何人受入でき、食糧の調達はどう行うのか。
答 59か所の避難所等において、長期で約1万5千人、一時的には約4万4千人の受入が可能で、4万食を備蓄している。調達については、食品製造業や飲食店組合と災害時の協定を結んでおり、現在新たな団体との協定も進めている他、災害時相互応援協定を結んでいる17の自治体からも提供を見込んでいる。

問 停電時の夜中の避難は危険である。防災のシンボルとしても、目印としても誘導灯が必要と考えるが、避難所への移動方法をどのように周知しているか。
答 避難所についてはハザードマップや我が家の防災対策等の配布物やホームページで、移動方法については自主防災組織を通じて周知しており、12月には各自主防災組織と共同で避



避難所である駅前の産業振興センター

難所の開設訓練を予定している。夜中の避難については、非常用懐中電灯を用意するよう啓発している他、移動が困難な場合は近くの公園等で安全確認できるまで待機してもらうように考えているか。
答 公園、児童遊園の遊具等の点検整備は、どのように行っているか。
答 造園業者に委託する年間管理の中で、遊具及び植栽については月2回、トイレについては週3回の点検を行っている。これとは別に、遊具については、国の指針に基づき、年1回の専門技術者による定期点検において、磨耗、変形等を点検する劣化診断と遊具の基準が改正された場合の適合性について確認を行っている。また、職員による巡回パトロールや公園等愛護会による遊具や照明灯等の点検も実施している。

新村 健治 議員（二問一答方式）
公園、児童遊園の安全管理、衛生管理の徹底を
—専門技術者等による点検、整備を適時適切に実施—

問 公園等の砂場における犬糞のふん尿対策、砂場の管理はどのように行っているか。
答 砂の攪拌、清掃及び消毒剤の散布を年1回実施しており、地区の要望があれば、砂の補充も行っている。また、公園等愛護会の協力を得て、夜間、砂場にシートを設置し、対策を講じているか。
答 公園等愛護会による巡回パトロールや公園等愛護会による遊具や照明灯等の点検も実施している。

問 公園等の砂場のメンテナンスについて、具体的な業務スケジュールはどうなっているか。
答 市内約130カ所の公園、児童遊園の砂場について、4月下旬から清掃、消毒業務を順次進めており、8月末時点で全体の73%である95カ所が完了している。残りの35カ所についても9月中旬頃までには完了する予定で進めている。



子どもが安心して遊べる公園を

山本 シモ子 議員（一括質問一括答弁方式）
市は浜岡原発撤退の立場を表明すべき
—計画的、段階的に原発依存度を下げる政府の政策を注視—

問 8月6日、9日に広島と長崎で行われた平和式典で発表された、核兵器廃絶に向けた国民議論を行っていく平和宣言に対し、刈谷市はどのように認識しているのか。
答 広島市長は、核兵器廃絶

えている。
問 避難所である学校の安全対策はどのようなものになっているか。
答 体育館の照明には落下防止対策を、窓ガラスは強化ガラスへの取り替えが完了している。

明していることは、国民にとつて危険極まりないと思われる。原発からの撤退について市はどのように考えているのか。
答 原発がなくなれば、火力発電のCO₂排出による環境問題や電力供給不足による経済の停滞など、また別の問題が生じてくる。計画的、段階的に原発への依存度を下げるような政府の政策を注視していきたい。
問 福島関係自治体などでは、
以上が必要だとつくづく感じます。
◆少し前の話ですが、なでしこジャパンのサッカーW杯での奇跡的な初優勝に大変驚き、感動しました。体格に勝る相手でも、戦う心や戦略があれば倒せる事を証明してくれたと思います。勝因を私なりにまとめてみました。
・恵まれた環境でなくとも、監督も選手も高い志を持ち、優勝を目指した純粋な心。
・選手の個性を生かし、自分達のサッカーを貫いた監督の力量とポリシー。
・選手が互いにカバーしあい、チームの弱点を補った助け合いの精神。
その他にも色々ありますがそれはさておき、議員も職員も見習うべき！そう思った方も多いと思います。もう忘れていませんか？議員の方は7月の選挙で当選させて頂いた感動をまだ覚えていますか？W杯も選挙も、4年に1回。この感動を持ち続け、よりよい市政構築に取り組みしましょう!!
(議会広報委員会)

編集後記

◆東日本大震災、超円高、世界各地の金融不安・・・近年あまりにも予想外の事態が多発するので、既成概念が崩壊し、物事の正当性や基準価値観が判断としない時代になってきました。だからこそ、真に必要な事業を見極め、着実に遂行する、質実剛健な市政が求められるのではないのでしょうか。
後年振り返ってもゆるぎなく、筋が通っているのが、考え抜かれた良い事業だと思えます。
◆9月定例会では、平成22年度決算などの議案の説明があり、議員からは様々な質問、提言があったほか、一般質問としては防災、節電、被災時支援など震災に関連した多くの質問がありました。刈谷市の実質収支は黒字で、市の財政は依然として健全ではありますが、次年度の収支の見通しは不透明です。
今後は、激動の時代を乗り切るビジョンと、市民目線をあわせ持った自治体経営が今